

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2013 May

05

Vol.562

03 **【特集】**

景況調査を活用していますか？

07 地域に光る企業づくり
糸島支部(仮)設立

08 21世紀型 自立型企业づくり
PDCAは自分を知る
一番の武器

～環境を通して社会貢献～
株式会社 クリーン春日

11 ようこそ同友会へ

12 5月行事案内

14 新商品ご紹介

15 第12回 理事会報告

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.08掲載)



株式会社
クリーン春日

専務取締役
藤原 健二 氏
(中央支部)

藤原健二さんは、長年、地球環境問題委員会のメンバーとして活躍して頂いています。委員会の勉強会に社員の方を積極的に参加させ環境意識の向上に努めておられます。

一般廃棄物収集運搬という仕事柄、クリーン春日で働く社員の人が誇りを持てる仕事(会社)にするために、業界でもいち早くISO14001に取り組み、社員教育に取り入れ、自社の仕事の見直しを図っています。また、周辺のゴミ拾いや花を植えるなど、地域の環境美化に努めたり、地域の小学校の要請を受け低学年を対象にした環境教育にも熱心に取り組んでおられます。こんな熱心な藤原さんにもお子さんが4人おられて、とても子煩悩な一面も持っています。これからますます同友会や地域でご活躍されることを願っています。

記事:末竹 哲

今月の表紙



撮影:間々田 正行

創業して80年、私で三代目になります。早期から機械化が進んだ業界ですが、手仕事時代と変わらずに使う「待ち針」や畳の厚みを測る「クワイ」などが私の逸品です。畳の需要は減る傾向にありますが、やはり日本人が一番落ち着く床材。畳表を変えるだけで気分は一新しますよ。



「私の逸品」 畳づくりの七つ道具

都地畳店 後継者 都地 隆幸 氏

「あなたの写真で表紙を飾りませんか!」

表紙の写真を公募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成25年7月号は平成25年6月1日必着
投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
もしくは a_satou@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。
※表紙に目次が入るため、写真に文字が入ります。ご了承ください。

Information



宇宙の謎を解く 国際共同加速器ILCを九州に!

この計画は、世界の国々が協力して、全長約30~50kmのトンネルに「巨大加速器」を建設し、世界中から集まった研究者が、質量の起源とされる「ヒッグス粒子」の性質解明など人類共通の謎に挑むものです。

福岡県では、九州・山口の産学官政が一体となって設立した「ILCアジア九州推進会議」と連携して、九州におけるILC計画の実現を目指しています。

背振地域は、国連機関も存在する国際色豊かな都市。留学生をはじめ多くの外国人が安全・安心・快適な生活を送れる環境があります。数多くの大学や研究機関が集積し、アジアの主要都市・国内各地との交通ネットワークなどの交通インフラも充実しています。

ILC計画が背振地域で実現すれば、世界中の多くの研究者等が居住、滞在し、これらの研究者等と住民の交流を通じて、アジアでも類を見ない文化・学術交流の機能も兼ね備えた国際研究都市が生まれます。

■ お問い合わせ

福岡県ILC推進プロジェクトチーム
shinsan@pref.fukuoka.lg.jp ☎ 092-643-3449

ILCアジア九州推進会議

検索



景況調査を活用していますか？

四半期に一度、e・doyuでアンケートに答える景況調査、あなたはどのように利用していますか。福岡同友会では1992年より21年間にわたり、会員企業の景況をアンケートで調査・分析を行い、記者発表（1997年より）を行い月刊同友で報告をしまいいりました。今回の特集は景況調査にスポットをあて、調査の目的や活用について取材をしました。



景況調査室長 中村 高明氏

景況調査は現在、景況分析室（室長 中村高明氏）により、3月・6月・9月・12月の四半期ごとに会員対象にアンケート調査が行われています。e・doyuによるアンケートにより、アンケートの回収率も高まり、集計のスピードも向上しています。集計されたアンケート調査は専門家により分析がなされ、

景況調査分析会議にかけられた結果、記者発表がされます。この景況調査の目的について中村室長に尋ねてみました。

―景況調査の目的について教えてください―

中村 自社の経営状態は日々の動きの中でわかりますが、マクロ的



な経済の流れまではわかりません。これから景気が上向きなのか、下向きなのか予測の判断材料とするためです。例えば私どもの場合であれば、景気が上向きであれば在庫を積みましするし、下向きであれば圧縮をします。私の場合は、中同協から出されるDOR（ドール）と合わせて見るようにしています。福岡の流れに合わせて全国の流れも見ておく必要があります。

―毎回、記者発表をされていますが、マスコミは私どもの情報を求めているのでしょうか？―

中村 いろんな団体が広報活動の一環として景況調査を発表しています。金融機関、商工会議所などですね。マスコミは企業の規模に応じて報道する責任があるのとらえています。私も同友会に対しては小規模事業所の状況がどうかと問いかけているわけですね。一方、私どもはマスコミの発表を通じて、

同友会の存在を地域に知らしめるという広報の役割も担っています。また、継続的な発表により記者との繋がりができます。景況の調査発表にとどまらず、中小企業問題は同友会へという関係もできあがってきています。

今回の電力問題でもマスコミ各社は同友会がどのようにとらえているか見解を求めてこれられ、会員（九州全県）によるアンケート調査結果を記者発表したところです。

―中村室長は自社の経営の中でこの調査結果をどのように活用されていますか？―

中村 社内では必ず調査結果を回覧します。解説が必要なきは私がコメントをつけるようにしています。また経営指針書作りや幹部会議に必ず活用をします。例えば、愛知で自動車の生産が300万台から200万台に削減されるとなると同業のマーケットはシュリン

クします。それで、おそらく九州にマーケットを展開してくると考えるわけですね。九州の同業間で競争が激化し、価格競争が始まると予測するわけです。それにどのように対応するかを幹部会議の中で検討をするのです。2つ目に、失われた20年と言われていますが、製造業は工作機械を買い替えせずにここまで来ています。今は中国や韓国の設備のほうが新しくなっているんですね。そこでアベノミクスの政策を活用し、工作機械等の設備投資が起これると予測し、今から対応して行くことを考えています。このように大きな経営判断をするときには必ずマクロ的な経済の動きを知ることが必要になります。

現在、景況調査のアンケートは300社〜450社のみなさんにお答えいただいています。精度を高めるため、そして対外広報のためにも30%の600社以上の声がほしいと中村室長は訴えられています。これから直面する問題に消費税増税、原発問題、電力問題などが控え、われわれ中小企業家の環境改善へのテーマが浮かび上がってきます。3つの目的の総合実践のための判断材料として重要なデータとなる景況調査に会員の義務として目を向けたいものです。

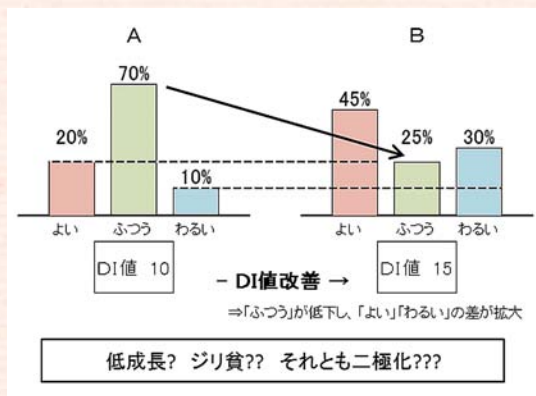
同友会景況調査の読み方

D I値は「よい」と「わるい」の天秤はかり

同友会の景況調査で利用しているD I値とは、Diffusion Index分散・拡散などの指数を意味します。D I値は、景況に関する五段階評価のうち「非常によい」「よい」をまとめた「よい」回答の割合と、「わるい」「非常にわるい」をまとめた「わるい」回答の割合の差によって表しています。たとえば「よい」側が計15%、「普通」が75%、「わるい」側が計10%ならば、D I値は5となります。もし全員が「よい」ならばD Iは100、「わるい」ならばD Iは100で、その境界は0と分かりやすい指標となっています。個別の回答内容から一歩引き、要するにどちらの回答が多いのかをベースに考えるD I値は、業績の



景況分析会議 助言者
塩次 喜代明氏（福岡女子大学
国際文理学部 国際教養学科 教授）



停滞か二極化か?

総括から社会心理まで含め総合的に把握するのに役立ちます。なおD I値と言えは内閣府の発表する「景気動向指数」や日銀の「業況判断指数」もあり、算出の仕方は異なりますが「よい」「内容と「わるい」内容の指標数を比べるという部分は共通していますので、興味のある方はぜひ比較してください。

さて、「よい」20%「わるい」10%だとD I値は10です。ここで「よい」45%、「わるい」30%になるとD I値は15になります。推移としてはD I値が5ポイント改善したということになりますが、「ふつう」が低下し、勝ち組と負け組の差が拡大したともいえるでしょう。



景況分析会議は、会員、研究者（大学教授）、経産局調査課課長、集計分析担当者によって構成されています。

福岡同友会の景況分析

福岡同友会の景況分析会議では、五段階評価それぞれの推移も読み解き、景況を検証しています。またD I値をクロス分析し、その推移を比べることで好調不調の企業それぞれ、または業種別、従業員規模別、そして県内地域別において景況感、売上、利益、新規受注の動向を概観しています。

解説：景況分析室 調査分析担当

有限会社エムケイブレーション 榎本典之

明るい兆しあり！実需はこれからへ期待

調査要領

調査時 …… 2013年3月6日～2013年3月29日

対象企業 …… 福岡県中小企業家同友会 全会員企業

調査の方法 …… 会員専用サイト(一部FAX)にて配信、自記入、回収

回答企業の概要

回答数 …… 420社の回答(回答率21%)(製造業 62社、建設業 64社、商業流通業 66社、サービス業 223社、不明 5社)

企業規模 …… 0～10名以下 216社、11名～20名以下 88社、21名～50名以下 69社
(従業員数) 51名～100名以下 29社、101名以上 15社、不明 3社

企業の所在地 …… 福岡地区 287社、北九州地区 49社、筑豊地区 35社、県南地区 33社、県外 13社、不明 3社

経営指針書(理念・方針・計画) …… 有り 198社(50.2%)、無し 196社(49.8%)

■ 概況

分析会議では、建設業は非常に忙しい状態との声が聞かれました。しかし、職人が不足していることから仕事があるのに受注できないことや、職人の手当をカバーできるかが業界の課題としてあげられました。保険業界では、4月2日の料率改定による保険料値上げの駆け込み需要があり、2～3月は忙しかったとの声が聞かれました。銀行窓口での販売が本格化し、既存の販売チャネルとの競争が激化しつつある状況にあるとの意見がありました。製造業では意見が分かれました。「円高で業績不振だと思っていたが、円安になってあまり変わらない状況」という声や「今回の景況感と同様に業績アップ。売上高は横並びだが利益は上昇。今後に期待感を持っている」との声、「トヨタ自動車九州のレクサス関連が復調していないが、ダイハツ関連の受注が増えた。見通しは明るいが見えは悪い」など、今後の実需に期待したい声がありました。広告業では依然としてインターネット関連の広告が特に重要視されているとの声がありました。インターネット広告で「家」が売れた事例もあるとのこと。福岡同友会では全体として上向きの結果となりましたが、中同協(中小企業家同友会全国協議会)景況調査では売上・業況・採算DIのいずれも水面下で悪化しており、相反する結果となりました。以上のことから、福岡では明るい兆しが見え、実需はこれからに期待したいとの意見でまとまりました。

■ 全体的な特徴

●リーマン・ショック以降で景況感DI過去最高値

景況感DIは、もっとも低かった69回(2009年4～6月)以降では過去最高値を記録した。他、すべてのDIで上昇している。

景況感 DI	14.5 ㊦ ↑ up
売上高 DI	6.9 ㊦ ↑ up
利益 DI	9.9 ㊦ ↑ up
新規受注 DI	7.2 ㊦ ↑ up

■ 業種・従業員規模・地域別の特徴

●建設業(土木・設備)を除き景況感改善

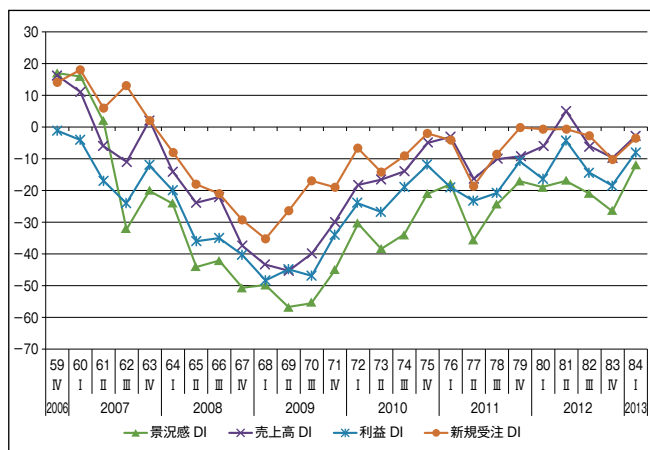
景況感DIではサービス業(対個人)が大きく改善した。売上・利益・受注の各DIも改善していることから、業況は良かったことが伺える。一方、建設業(土木)ではすべてのDIが前回より悪化した。

●多くの層で前回より改善

従業員規模別では多くの層で改善し、特に51名以上ではそれぞれ46.7ポイントの改善となり、プラスに転じた。一方11～20名層、31名～50名層では景況感が悪化している。

●全地区で改善

すべての地域で改善した。北九州・筑豊地区についても悪化の予想を覆しての改善であったが、北九州地区については次回もわずかながら悪化の予想を立てている企業が多い。



■ 経営上の問題点

●民間需要の停滞が減少

「民間需要の停滞」が15.2ポイント減少し、同様に官公需の停滞も5.3ポイント減少している。「従業員不足」「新規参入」が増加していることから、景況の改善をここでも読み取れる。しかしながら、「原材料の高騰」「仕入単価の上昇」については増加していることから、予断を許さない状況にある。

■ 直近の決算について

● 冬の賞与は減額傾向に

黒字47.5%、トントン27.6%を合わせると、75.1%という結果になった。特に黒字の割合については過去最高となっている。

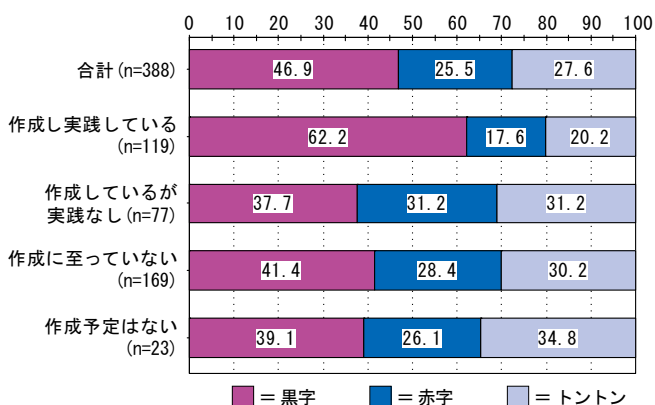
No	項目	件数	割合
1	黒字	191	47.5%
2	赤字	100	24.9%
3	トントン	111	27.6%
	不明	18	
	合計	420	100.0%

■ 経営指針書(経営理念・経営方針・経営計画)

● 実践するまで開き

経営指針書の実践企業は、黒字企業が明らかに多い。実践しているかどうかで大きく開くのが分かる。過去のデータを見ると、実践企業は概ね3割弱といえる。

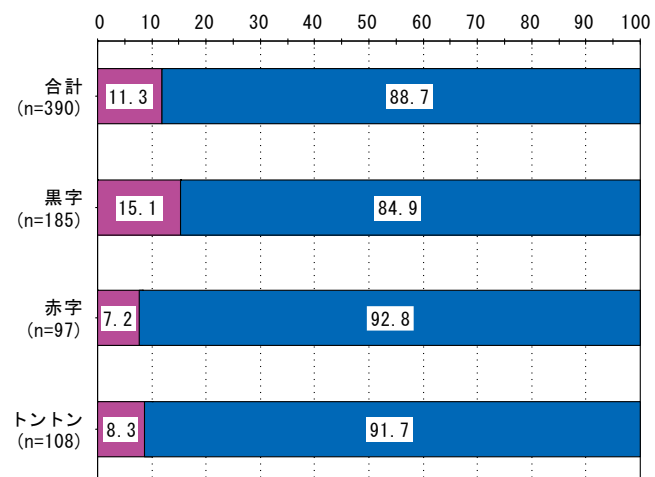
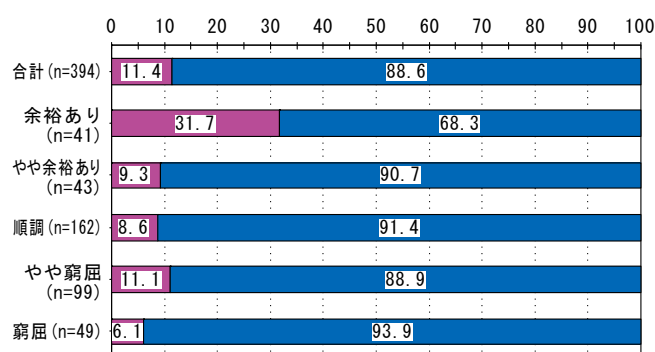
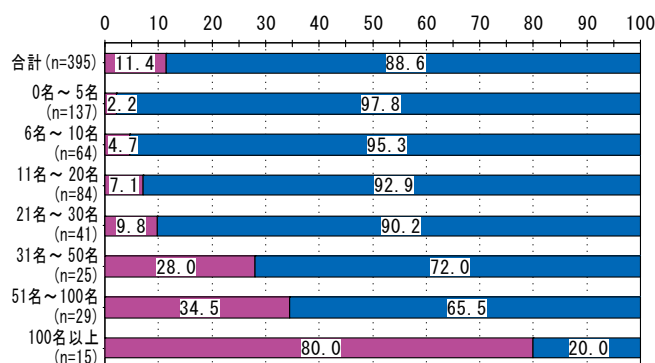
	82回	83回	84回
作成し、実践している	144(30.3)	112(33.5)	120(30.5)
実践できていない	98(20.6)	63(18.9)	78(19.8)
作成に至っていない	192(40.3)	134(40.1)	173(43.9)
作成する必要はない	42(8.8)	25(7.5)	23(5.8)



■ 障がい者雇用

● 10社に1社が雇用

障がい者雇用について初調査となった。回答企業の内45社(11.3%)が雇用していると回答。クロス分析の結果、31名以上の規模の企業や、黒字企業、資金繰りに余裕のある企業は雇用数が若干ではあるものの、多いことが分かった。



■ 議長談話

「金融機関への報・連・相を徹底しましょう」

地域に光る企業づくり

糸島支部(仮)設立

糸島市や福岡市の西部地域の会員を対象とした「糸島の集い」が発足したのは2010年5月。これまで定期的な会合を重ね、ついに2013年5月17日に支部設立総会を迎えます。

設立にあたって

糸島支部(仮) 支部長予定者

大塚 正造 氏
おおつか しょうぞう

(有限会社リウイングオフィス 代表取締役)



到着します。

海あり山あり、自然に恵まれた地で収穫された農産物や海産物は、「糸島ブランド」として確立し、週末には市街から多くの買い物客もやって来ます。

その糸島に、「支部を立ち上げてはどうか」という意見が、同友会本部から沸き起こり、4年前から発足のための活動を行って参りました。「糸島の集い」と名づけられた会で、幾度となく話し合いを続けた結果、見切り発車かもしれませんが、県下で20番目の支部として「糸島支部」が産声を上げる事となりました。そして今回、支部発足に関わってきた経緯から、不肖、私大塚が糸島支部の初代支部長を仰せつかる事となりましたので、ここにご挨拶申し上げます。はなはだ僭越ではございますが、糸島支部が皆様に認めてもらえる支部となるよう、会員の皆さんと一致団結し、一層努力を重ねて参りますの



糸島の集い 例会の様子

で、どうかご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

また支部設立総会が、平成25年5月17日(金)に行われます。福岡市西区周船寺の「山水荘(☎092-806-1212)」にて、15時30分受付、16時開催となっております。総会後17時より、中山代表理事による「人を生かす経営」を演題とした記念講演も予定しております。ご都合が合われます方は、是非ともご出席いただけますよう、よろしく御願ひ申し上げます。

糸島支部(仮)設立総会

【スケジュール】

16:00~17:00

設立総会

17:00~18:15

記念講演

「人を生かす経営 ～中小企業が糸島を元気にする～」

報告者/株式会社ヒューマンライフ 代表取締役 中山 英敬氏(福岡同友会代表理事)

18:30~20:30

祝賀会(※祝賀会は、参加費5,000円です)

日時:2013年5月17日(金)

会場:山水荘 (福岡市西区泉1-5-1 TEL:092-806-1212)

糸島市や福岡市の西部地域にお知り合い経営者の方がおられましたら是非ご紹介、お誘い下さい!

PDCAは自分を 知る一番の武器

取材 月刊同友編集部
文章 菅原 弘
写真 船木 治

常に危機感を持つて業務にあたっています。
手段として導入したISO14001で
会社がどのように変わったのか、取材しました。



株式会社 クリーン春日

専務取締役

ふじわら けんじ
藤原 健二 氏

中央支部

創業 1960年1月
住所 春日市大和町1-2
電話 092-582-1008
社員 21名 パート 2名
<http://ww7.tiki.ne.jp/~kasugaseisou/>

業務内容と現状の課題

「春日市の一般廃棄物の収集・運搬をしております。創業は昭和35年です。50年を超えました」と話し始めたのは、㈱クリーン春日の藤原健二さんです。

一般廃棄物収集・運搬には、委託業務（家庭ごみ）と許可業務（事業所ごみ）があり、春日市内には3業者があります。

委託業務は、委託料金が一世帯当たりの単価×世帯数と定額になっています。間違いなく入金できて、新規参入が難しいことも相まって「業界内で危機感のない状態が長く続いた」と藤原さんは指摘します。

許可業務においても、もっと営業を掛けて契約事業所の増加が必要と考えています。

行政側の対応

「委託金額はここ十数年上がっていません」。春日市も財政状況が厳しいことから経費節減を求めています。「委託料金の引き下げもやむなし」という話も出ています。「市に対してモノが言える業者にならなければなりません」と藤原さんは強調します。廃棄物の収集・運



平成13年から地球環境と市民の健康に配慮することを目的に圧縮天然ガス車両(CNG車)を導入しています。

搬は一朝一夕にできる仕事ではありません。人員配置と車両の手配をして、長年蓄積したノウハウで時間内に正確に遂行しています。事故・クレーム・取り残しはご法度です。市との信頼関係を構築して初めて「モノが言える関係」ができると言います。

同業者とも連携を深めています。「以前は仲が悪かったのですが(笑)、今はそんなこと言っていないだけです。一緒に勉強会もしています」。現在取り組んでいるのは「原価意識を高めること」です。車両一つにしても、燃料費や低公害対策などの費用、故障した場合の修理費(事後保全)や故障しないためのメンテ

ナンス(事前保全)、これらも原価に含まれているのです。「もらった金額から単純に掛かった経費を引き算しているような安易な考えでは、ヨソからやられてしまいます」。

必要なのは『質の向上』

仕事量は増える一方です。ごみ袋の有料化に伴い、分別が細かくなってきました。さらに粗大ごみや引越しごみの対応もあります。単発の依頼については単価が決まっていますが「そのために人員を常駐させ車を待機させておかなければならぬ」という発想が市にはありません」と藤原さんは話します。原則として、依頼された物件は断ることができません。そこで藤原さんが従業員に求めるのは、「質の向上」です。「そのためにどうしても『正社員』にしなければなりません」。アルバイト・嘱託社員では責任感が違うと痛感しています。委託料金が据え置かれているなかで、正社員化は非常に難しい命題に迫られています。

手段としてのISO導入

一社員として現場で鍛えられた藤原さんは、常々何とかして『質の

向上』を図る手立てはないかと考えていました。後継者として同友会へ入会し、環境のことを学ぶ目的で地球環境問題委員会に参加しました。ISOには前から興味を持っていましたが、委員会参加とほぼ同時期に取り組みを開始しています。「ISO導入により、面倒なことが増えたと社員に総スカンを食らいました」と苦笑いします。外部からのチェックが入ることで社内が引き締まると言います。まず最大の課題である『取り残しゼロ』に取り組みしました。現状を評価・原因を追究・対策を練って実行・その結果を検証し、改善していきました。「失敗は伸び代だと思っんです。P(計画)→D(行動)→C(確認)→A(改善)は自分を知るための一番の武器です。そして記録の蓄積も重要で、いつでも誰でも取り出せることがポイントです」。

『お金』と『休み』

さらに藤原さんは従業員のモチベーションを上げるためには『お金』と『休み』が必要だと考えています。「『お金』に関しては「増えた利益の半分は配分する」と宣言しました。平成24年度は宣言どおり、利益分を賞与に還元したため増収減益でした。「決してドンブリ勘定で経



地元小学校での社会学習の様子。



小中学校で回収した牛乳パック。

営しているのではないと管理職に説明しました。ちなみに藤原さんは管理職に株を持たせています。経営感覚を持ち、また株主の視点を持つためです。

並行して表彰制度も導入しました。「賞与は仕事に対してですが、表彰は日頃の勤務態度や改善に対する取り組みが対象です。税金で持っていけない程度の金一封を出しています」。

一方「休み」に関しては、有給休暇の消化率向上を掲げています。「体あつての仕事ですからね。家庭持ちも増えてきました。計画的に全員が休みを取れるよう指示しました」。そのためには運転手も作業員も両方できるようにしなければなりません。ローテーションを組むに当たり、ここでもPDCAが発揮されました。夜間に運転手は前方の景色しか見ていませんし、作業員は後方の景色しか見ていません。そこで誰でもできるようなマニュアル作りを自分たちで話し合っ

この仕事を通して 社会貢献する

同社では『委託』と『許可』のほかに、古紙の回収も行っています。「昔は段ボールを取り扱うと家が建つ

と言われましたが、今では価格がピーク時の五分の一以下になってしまいました」。それでも尚回収を続けるのは『委託』『回収』の認可を受けている企業としての責任感からです。

また地元小学校にゲストティーチャーとして招かれ、『環境』についての課外授業をしています。給食の牛乳パックの回収を通して『環境』に関心を抱いてもらいました。年度末には『見える化』として、セルロース燃焼時に発生する二酸化炭素に換算した量を教えました。またトイレレットペーパーを子どもたちに還元しました。同友会で提唱したエコ事業所の表彰報告で春日市長と会った際にこの話をする

経営指針書の活用

同友会では地球環境問題委員会

で学び、環境と経営の繋がりを再確認する中で経営指針の大切さに気づき、経営指針書を作成しました。25年度からは第2次5ヶ年計画が始まります。取り組むべき課題として、①環境配慮型社会 ②売上確保 ③質の向上を掲げています。ボトムアップで改善提案が出てきています。「第1次経営計画では54件の改善提案が出され順次解決し、現在も取り組んでいます。ボトムアップでやるのが企業の活性化につながります。社員共育でやることだとえ社長に対して進言できるようになっています。みんなで行こうという社風が生まれてきます」。

改善し続ける会社

「同族でやっていると甘えが出る可能性ががあります。ウチの場合、身内というよりも一人間として先を見越した経営を心がけています。ISOの取り組みがその一つですね」。

取材の最後に藤原さんの考える『自立型企業』について伺いました。「自分の会社をずっと改善できる会社ではないですか。成長し続ける、妥協しない、毎年一つでもいいから成長する会社だと思います」。取材協力ありがとうございました。

WELCOME Fresh our partners

新入会員ご紹介

ようこそ
同友会へ



株式会社 ロジネットシステムズ

GPSを活用し、
車の位置・状態をリアルタイムに
把握するシステムを開発・販売

福岡市東区土井2-2-31
TEL 092-674-5517
<http://www.loginet.jp>

代表取締役 おほ ひとし 於保 秀彦 (博多支部)

GPS車両動態管理システムを開発・販売し8年。主に運輸・産廃業様へ販売して来ました。このシステムを異業種の方々にも知って頂く為に、交流の場を模索していた所、取引先の方が北原支部長と面識があるとの事で昨年ゲストとして例会と懇親会に参加させて頂きました。その時、皆様のバイタリティと元気さに圧倒されました。会員になり、早速色々な業種の経営者の先輩方と交流ができ、感謝しています。これからは、積極的に参加しネットワークを広げ、成長して行きたいと思っています。



NPO法人 発達障がい者就労支援ゆあしつづ

発達障がい者の就労を支援する
塾の開講と発達障がい者の
就労支援セミナーの開催

春日市桜ヶ丘3-52サーパス井尻403
TEL 092-573-0108
<http://yashitsubu.net/>

代表理事 くわはら ゆみこ 桑原 由美子 (西支部)

私達は働きたいと願う発達障がい者に対し、就労するために必要な力を身につけるための塾を運営、その他セミナー等を行っています。

入会のきっかけは、有限会社日研の末竹取締役社長からバリアフリー委員会の事を教えて頂き是非学ばせて頂きたいと思い入会致しました。

企業の現状や、経営の事、学びたいことが沢山あります。皆様どうぞ宜しくお願い致します。



双葉交通 株式会社

福岡市内を中心とした
タクシー業です。

福岡市南区清水3-19-20
TEL 092-541-0234
<http://www.futaba-k.jp>

取締役 とよしま あきひろ 豊島 明弘 (福友支部)

福岡市南区にあるピンクの色が目印のタクシー会社です。地域の皆様に支えられ、今年で61周年になります。同友会の入会のきっかけは、クリアコードパブリッシング代表の行武さんに紹介して頂き入会しました。その中で時代に合った新しいタクシーを考えていております。同友会では様々な出会いがあり、経営者の考えを勉強できる貴重な機会ですので、皆様と成長していきたいと思っています。



株式会社 Glittering heart

国内航空券・海外航空券・JR券・
野球イベントチケット・
K-POPグッズ・コスメ販売

福岡市南区平和2-23-11-202
TEL 092-526-5220
<http://www.helloticket.net>

代表取締役 おくむら りょう 奥村 良 (青年支部)

福岡市内にて金券ショップと水素水ウォーターサーバーの販売を行っております。同友会の竹下典子さんより紹介を受けて入会する事となりました。入会して、同年代の若手経営者の方々が多くとても刺激を受けました。今後は多くの方々と交流を持ち、福岡の経済を活性化していければと思います。

筑豊地区総会**5月17日 金 17:00~17:50**

■ パドドウ・ル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138

筑豊支部総会**5月17日 金 18:00~**

■ パドドウ・ル・コトブキ

嘉飯支部総会**5月17日 金 18:00~**

■ パドドウ・ル・コトブキ

県南地区総会**5月13日 月 17:00~18:00**

■ ランヴィエール勝島 柳川市南長柄町22 ☎0944-73-9181

久留米支部全体会**5月15日 水 18:30~**

■ 萃香園ホテル 久留米市櫛原町87 ☎0942-35-5351

大牟田支部総会**5月14日 火 18:00~20:30**

■ グランドホテル清風荘 大牟田市原山町2-4 ☎0944-56-1212

有明支部総会**5月13日 月 18:10~21:00**

■ ランヴィエール勝島 柳川市南長柄町22 ☎0944-73-9181

りょうちく支部総会**5月16日 木 18:30~**

■ うきは市 総合福祉センター うきは市吉井町347-1 ☎0943-76-3977

糸島支部設立総会**5月17日 金 設立総会 16:00~/記念講演 17:00~/祝賀会 18:30~20:30**

■ 山水荘 福岡市西区泉1-5-1 ☎092-806-1212

14 火 16:00~18:00**ソーシャルビジネス委員会
5月例会****ソーシャルな仕事と消費を考える ～価値から意味の時代に～**

■ 天神パークビル 福岡市中央区大名2-8-18 ☎092-721-5530

■ 永田 賢介氏 NPO法人アカツキ 代表理事

今月はNPO活動を精力的にヒアリングされている永田氏より「売の側＝社長と社員のモチベーション、買う側＝顧客の消費インセンティブの間に、価格だけではないソーシャル主義の顧客の存在」との視点からお話を頂きます。(参加費 500円)

17 金 18:30~20:30**地球環境問題委員会
勉強会****間違った環境表示をしていませんか？
～グリーンウォッシュ(環境偽装を防ぐ)～**

■ 同友会事務局会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15

福岡県中小企業振興センタービル 11F ☎092-686-1234

■ 中原 秀樹氏

東京都市大学(旧武蔵工業大学) 大学院環境情報学研究科 教授
グリーン購入ネットワーク(GPN) 名誉会長

「地球にやさしい」「無添加の〇〇」といった環境に配慮した商品・サービス・PRが増えました。グリーンウォッシュは不確かな情報や部分的な情報を伝えて、消費者の誤解をまねくような環境広告・表示を意味します。欧米では厳しい罰則が課せられ、日本も例外ではありません。

■ 参加費 1,000円

25 土 9:30~18:00**福岡地区
経営指針作成『あすなる塾』**

■ 福岡県中小企業振興センタービル 福岡市博多区吉塚本町9-15

『あすなる塾』は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加して頂きます。

■ 参加費 会員 2,000円 会員外 3,500円 (昼食代、書籍代含む)

28 火 18:30~21:00**企業連携推進委員会
FAST5月例会****産学連携 住まいの除・防カビ事業創造**

■ 福岡県中小企業振興センタービル 501号

福岡市博多区吉塚本町9-15 5F

■ 横野 照尚氏 九州工業大学大学院工学研究院物質工学研究系 教授
九州工業大学大学院教授の横野照尚先生の研究グループは、光触媒として使われている酸化チタン(TiO2)の結晶面を構造制御する粒子合成手法によって、有機物などを分解する能力を大幅に高めることに数年前に成功されました。さらに研究を重ねられ、産学連携による事業創造の実践として、FASTのメンバー、(株)ミルテックジャパンとの産学連携で建築物の除・防カビが事業化され、マスコミ等でも報道されました。

5月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

福岡地区総会

5月20日 月 15:30～17:20

■ 福岡県中小企業振興センタービル 2F 大ホール 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

東支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 2F 202

福博支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 3F 303

博多支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 5F 501

中央支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 3F 301B

西支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 3F 302

南支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 4F 401A

福友支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 3F 301A

青年支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 4F 401B

玄海支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 11F 同友会会議室

かすや支部総会

5月20日 月 18:00～

■ 福岡県中小企業振興センタービル 4F 402

筑紫支部総会

5月20日 月 18:30～

■ 大観荘 筑紫野市湯町1-12-1 ☎092-922-3236

北九州地区総会

5月17日 金 17:00～18:10

■ ホテルアルモニーサンク ピエールブラン 北九州市小倉北区大手町12-3 ☎093-592-5401

北九州支部総会

5月17日 金 18:20～

■ ホテルアルモニーサンク ピエールブラン

ひびき支部総会

5月17日 金 18:20～

■ ホテルアルモニーサンク 小会議室

新商品ご紹介

有限会社 ニッコー・ネット 代表取締役

ふるかわ じゅんいち 古川 淳一 (博多支部)

30万円クオリティのホームページを半額で
— 成長型レンタルホームページ「ステップ・アップ」—advertising.planning.
Nikko.net

有限会社ニッコー・ネットは、広告企画デザインを業務とし、企業様の思いがこもった商品やサービスをどのようにして、お客様に伝えるかを考え、最適な販売促進ツールを提供する仕事を行っています。開業時はチラシ・ポスター・DM・POPなどの印刷物が中心でしたが、徐々にホームページを活用したネット上でのマーケティングのウエイトが高まってきました。今やホームページは中小企業の強力な武器であるといえるでしょう。

しかし、ホームページは、htmlというプログラム言語を使用するため、制作や修正・更新作業に、ある一定以上の高い技術が必要なので、予想以上に費用が掛かり、そのため企業様が更新を諦め、結果的に十分に活用されていないという問題点を感じていました。同友会の会員さんにもホームページがありながら十分に活用できていないとおっしゃる方も多いのではないのでしょうか？

このたび弊社で、その問題点を解決して、通常の半額で制作し、ほったらかしではなく、毎月企業様が発信したい新商品情報や求人情報など本当に発信したい情報を発信しながら、どんどん使えるホームページに育てていく成長型レンタルホームページ「ステップ・アップ」のサービスを開始しました。これは制作を簡易化するソフトを導入し、当社が得意とする企画力・デザイン力を融合し、面倒な独自ドメイン取得やサーバの設定までのサービスをパックにしたレンタル方式にすることで、大幅にコストを削減しました。企業様が低コストながらも業績に活かせるホームページを持つことができるようになったサービスです。

これは以前、開物成務塾で「幼稚園向けのレンタルホームページ」の提案を行い、会員の皆さんと湯本先生からのアドバイスを活かして改良を加えて、今年4月の開物成務塾でも提案し、さらにブラッシュアップできました。感謝しております。

特長としては①日頃お使いの営業ツールだけで5ページを10日程度でのスピード立ち上げ。②作りっぱなしではなく、レンタル料の中で、情報を毎月タイムリーに更新で

き、より使いやすいホームページと成長。情報の追加などが料金を気にせずレンタル料だけで更新ができるのです。何か情報を更新したいときに追加料金がかかるからために更新できない…などという問題はありません！

③ある程度の形ができたなら、戦略を盛り込んだ集客システムの導入やクレジット決済付ネットショップ化をこれまでに考えられない低コストでの導入も可能。

まだ、ホームページをお持ちでない方、今のホームページに不満を感じている方には、自信をもってお勧めしたいサービスです。既存ページの「下取り制度」もあります。

併せて、このレンタルホームページをお知り合いの企業様にご紹介いただければ同友会会員さんへのご紹介制度も準備しています。会員の皆さんののお力もお借りして福岡の地元中小企業の発展に貢献したいと考えております。ぜひご協力ください。

成長型レンタルホームページ「ステップ・アップ」
(5/31(金)までにお申込の方は、初期費用20%OFF)新規作成基本プラン初期費用(5ページ) 157,500円
(リニューアルプランは別途見積もり)

月額レンタル料 10,500円/月

※低コストオプションで集客システム・クレジット決済付ネットショップ化も可能。

※初期費用は、15,750円×12回払い(分割手数料を含む。)/や当社ホームページ上でのクレジット決済も対応。

有限会社 ニッコー・ネット

〒810-0882 福岡市博多区麦野6-5-2
TEL 092-402-2093<http://www.nikko.net>

2012年度 第12回理事会報告

■ 日時：2013年4月17日(水) 15:00～18:00

■ 出席：41名(欠席11名) 出席率78.8%

■ 会場：福岡県中小企業振興センター 501会議室

■ 議長：林田副代表理事

○黙祷：佐東 和芳氏(サンキュウ㈱ 代表取締役・中央支部)3月20日逝去 64歳

□ 開会あいさつ(中村代表理事)

アベノミクスについて、少しふれさせていただきます。日銀総裁が黒川さんに代わりました。

黒川さんが主張しているのは、インフレになるので、企業が返ってくる、国債では金利が下がっているから企業にお金を貸すようになる という事です。ですので、これからよい企業には金融機関が借りてくれという状態が起こってくると思いますが、金融機関も自己資本比率は大事ですので、苦しい会社には貸さないでしょう。我々は、自分たちが何のために経営しているのか、お客様や地域の期待に応えられる自立型の企業をめざす、自主的な従業員をつくることに集中しておけば、どのような状態になっても大丈夫です。会内でも情報交換を密にして、企業づくりに邁進いたしましょう。2年間、本当にありがとうございました。

1.活動報告

- ①前回理事会以降の全国・全県的な活動(事務局長)
 - 全県的な開催状況を報告。会員 1,096延名(在籍会員数の54%)、ゲスト(入会対象者)152名、社員その他260名、合計1,508名。
 - ・第43回全研(樋口実行委員長)
 - 資料に沿って、参加数など概要報告。最終的には、6月の中間協幹会にて報告。
 - ・中同協常任幹事会および政策委員会報告(中山代表理事)
 - 福岡同友会を代表して、全研の開催報告を行った。基調講演を頂いた、ふくやの川原さんが入会いただくことになった。
 - 中同協第45回定時総会(宮崎)の案内。福岡担当は、第8分科会に遠賀信用金庫の中村会長が報告者、また2日目の全体会で中村中同協副会長が問題提起者。
 - 6月は憲章推進月間。各地、勉強会を開催のよびかけがあった。
 - ・国際交流委員会：ミャンマー視察(伊藤国際交流委員長)
 - 大変親日的な国で、ビジネスチャンスも多々ある。これからの私達にとって、重要な国であると思う。月刊同友に報告を掲載したい。
 - ・共同求人委員会：合同入社式。合同研修会(時枝委員長)
 - 合同入社式36社105名、新入社員研修17社55名の参加。研修会について、来期は希望者全員の新入社員を受け入れられるようにしたい。
 - ・第84回景況調査結果と記者発表(中村景況分析室長)
 - 420社の回答。「明るい兆しあり！実需はこれからへ期待」とした。黒字企業が47.5%、赤字24.9%、トントン27.6%で会員企業は健闘している。経営指針を作成し実践している企業が、黒字企業であるという結果は明らか。

②会員企業の動き(事務局長)

- ・経営革新計画承認企業(株)バンテック、PLUSE1の2社 累計324社になった。
- ・新聞報道等の紹介

③対外的活動(事務局長)

- ・西日本新聞との連携(4月3日、4月10日、4月17日の朝刊「人」欄に掲載)
- ・北九州地区会：「北九州看板娘・看板息子事業」への名義後援承認報告
- ・ふくおか共助社会づくり表彰推薦依頼(企業部門を5月10日まで、自薦他薦を問わず)
- ・映画ひまわりについて
 - 正劇で検討した結果、賛同団体へはなじまないという事で見送ることとなった、と報告。
- ・あすばる男女共同参画フォーラム2013企画運営委員の推薦について
 - 女性部委員会で検討して、推薦することを確認。
- ・「女性の大活躍推進福岡会議」の支援団体・機関

へのご賛同について⇒賛同することを報告

2.入会・退会・除籍に関する審議(長井総務財政室長)

- ①除籍・退籍審議⇒1名の除籍を承認。
- ②入会資格の確認
 - 合同会社および土業の法人の「社員」は、法律上「従業員」ではなく「出資者」であり、無限責任のものである。経営に携わっている方については、入会対象者とする(理事会で確認する)

3.規程関係の整備(長井総務財政室長)

会員資格および会費等に関する規程 変更を承認

4.第51回定期総会および創立50周年記念式典に向けて

- ①2012年度決算報告および2013年度(長井総務財政室長)
 - 貸借対照表、2012年度事業活動収支計算書について説明。
 - 水害見舞金については、予備費から支出すべきではないかという意見があり、今後は予備費で対応することを確認した上で、承認。
- ②2013年度最終予算案について(樋口副代表理事)
 - 前期繰越金が確定したことを受けて、最終予算案を承認。
- ③2013年度役員候補者(岩本役員選考委員長)
 - 経営者フォーラム 日高美治氏、ビジョン委員長 新内一秋氏を推薦、承認。
- ④規約改正案(中村代表理事)
 - 規約と組織運営規定で、総会の委任について矛盾しているという指摘。定足数要件を廃止するか、他団体の通常総会のように委任状を集めるべきではないかという意見や代議員制について、検討してほしいという意見などうけて以下のとおり確認。
 - 委任状については、2013年度理事会での継続審議にする⇒承認
 - 地区会の組織改廃を、総会決議事項から理事会の承認事項に変更する件について、継続審議とする。(反対 10 保留7 賛成22)
- ⑤総会表彰(田浦代表理事)
 - 組織運営規程にもとづき、表彰対象者について確認。
 - 会員増強支部表彰(入会数は博多支部、入会率はかすや支部)、個人表彰は7名の方
 - 永年会員表彰(会歴30年は5名、会歴20年は21名)
- ⑥当日運営と役割分担確認(中野実行委員長)
 - 総会の議長については、渡木氏・花田氏を選出。
 - ・総会については、通常3時間で開催しているものを2時間で行う。事前に質問提出を要請。
 - ・祝賀会については、当日参加はお断りする可能性があり。早めの申し込みを。
 - ・支部ごとの着席となる、19日までの分で席割りを行う。
 - ・各支部、受付を1名ずつ選出要請。ただし、支部長以外を依頼。(理事として、総会に参加するため)

5.支部繰り越し金の使途について(中村代表理事)

- 同友会理念に相応しているか、全ての会員に恩恵がおよぶか、ランニングコストがかかるかどうか、を物差しにして 正副で整理を行った結果を報告。
 - 1. 会員データベースの充実
 - 2. 県のHP全面リニューアル
 - 3. 経営課題解決の事例集冊子作成
- 承認されました。

6.会員増強の推進(田浦代表理事)

- ①理事会のV90の結果⇒85名という結果。
- ②2012年度期末会員数⇒2304名の目標に対して、2023年の期末会員数。
- ③次年度に向けて
 - ・支部の適正規模について、検討を行う。顔が見えて、会員一人一人が主役になるような支部づくりを行うことが必要。他県の例も検討しながら、協議を進める。
 - ・次年度は2500名という目標設定を増強本部

で行っている。

2012年度は、7.8%の会員さんが紹介者として新会員を入会させたが、これを20%にまで増やす。

また、退会率を減らして 昨年度は235名の退会者であったが、次年度は退会者を半分にしたい。

・増強と定着は両方必要です。各支部の方針でもしっかり取り込んでいただきたい。

・我々リーダーが必ず取り組み達成するという姿勢で臨めば、実現不可能な数字ではない。支部役員研修会等でしっかり深めてほしい。

7.活動案内と提案など

- ①本部、室、委員会関係 他
 - ・中小企業憲章・条例推進大勉強会(中山代表理事)
 - 6月21日に勉強会を開催。各地区会の地域政策部をもとに活動する。呼びかけ協力を要請。
 - ・5月23日の支部長・支部活動研修交流会への参加要請。(中山代表理事)
 - エコノミックガーデニングについて学ぶ。
 - ・役員研修大学の企画(渡木役員研修室長)
 - 名称及び企画内容について、提案あり、今後理事会で協議する機会をつくることを確認。また、各支部で意見集約を。
 - ・企業連携推進委員会：「IT部会」発足の動きがあることを報告。(林田議長)
 - ・国際交流委員会の目的について(伊藤国際交流委員長)
 - 活動範囲を従来の「中国」から「アジア」に変更することを確認。
 - ・地球環境問題委員会5月勉強会案内(末竹地球環境委員長)
- ②地区、支部活動 他
 - ・青年支部フレンドシップフェスティバル2013の会場費の件(滝山青年支部長)
 - 毎年予算の関係で会場費を無料にしていたが、市役所の手違いで会場費がかかり、全体予算を見直したうえで202,500円不足するので、本年度のみ、県予備費から支出することを承認。
 - (来年度以降は、福岡市の行事扱いとなり不要になる)
 - ・各地区総会日程の確認、地区総会への代表理事の出席については地区ごとに確認する。(林田議長)
 - ・糸島支部設立総会の案内(中野福岡地区会長)
 - ・福岡地区の合同展示会の会場費分として30万円を立替えることを確認。(福岡地区会長)
- ③全国行事・九州沖縄ブロックの活動
 - ・第16回女性経営者全国交流会への出席要請(事務局長)

8.事務局関係報告(事務局長)

- ・事務局員 谷村 孝子：昨年定年だった、1年間延長して65歳全員雇用確保事業などを担当。4月30日をもって、退職。
- 山田美紀子：2月に骨折し、入院療養し、5月2日より復帰。
- 貝原 聖子：育児が終わり、5月7日より復帰。
- ・4月1日より 森元 里奈、石田 優花の2名が入局したことを報告、本人よりあいさつ。

□ 開会あいさつ(田浦代表理事)

わが社も4名の新入社員が入りました。20日までの研修を行っています。毎日レポートを出してもらっていますが、読むのが楽しみです。自社は新入社員を育てるキャリアアッププランがあり、新入社員は将来の宝であることを皆で認識し、全員で新入社員を育てる社風が出来上がりました。

同友会も新しい会員さんは期待を持って入会されます。入会してよかったと思う反面、不安もあると思います。今年で理事を退任する方は、新会員さんをフォローする役を担っていただきたいと思います。

2年間、本当にありがとうございました。



月刊

同友

562号

2013年5月1日《毎月1回・1日発行》

平成9年3月14日第3種郵便物認可
頒価/380円(年間4,500円送料込み)会員の購読料は会費に含まれます。

WASHIN 安全とお役たちの提供 物流業界、ラックパレット専門メーカー 和新工業 株式会社

取締役 営業部長 田中 浩司 (筑紫支部)

皆さんと一緒に取り組んでまいります。

検索キーワード『和新工業』
TEL 0946-23-0711 FAX 0946-23-0716
〒838-0823 福岡県朝倉郡筑前町山隈1279-1

困ったら・・・



ちくし法律事務所
CHIKUSHI LAW OFFICE

～夢を、かたちへ～

有限会社 堀内工務店

〒812-0851 福岡市博多区青木1-7-21(空港前)
☎092-611-6604
フリーダイヤル 0120-002-456



設計 施工 保守点検

安全な暮らし
を提案します

有限会社 フルガード



あんぜんぼうや

代表取締役

植原 正明

〒818-0117 福岡県太宰府市宰府1丁目3-8

TEL 092-928-5070

FAX 092-928-3765

uehara@fullguard.co.jp

無添加ジャム・国産蜂蜜専門店
はちみつ・ジャム工房

～自然の恵みをお届けします～

黒木 義隆



http://www.hachimitsu-jam.com

〒816-0905

福岡県大野城市川久保2-7-1-102

Tel 092-558-9728 Fax 092-558-9729

E-mail beebee@hachimitsu-jam.com



さくらフリースクール久留米

さくら国際高等学校 久留米学習相談センター

「高校卒業資格」が取得できる、通信制高校認定のサポート校です

さくらフリースクールは、不登校・学力不振・いじめなど、様々な理由から高校に通えない方、退学した方たちが、安心して通える「楽校(がっこう)」です。

〒830-0018 久留米市通町111-18 北島ビル2F

TEL 0942-36-8833

URL http://sakura-fs.net

スクール代表 星野 毅
(筑紫支部 (有)ちくしネット 代表取締役)

スクール運営者募集中!

各地での「楽校(がっこう)」
作りにご賛同いただける方を
募集中です!



足場のレンタルで、信頼を明日につなぎます。

株式会社アイル



足場作業リフト(特許第4397431号)

猿太助
さる とび た すけ

代表取締役

樋口 康治

☎ 092-811-8100

FAX:092-811-8103

〒819-0036

福岡市西区吉武333番地3

E-mail:info@air-rental.co.jp

http://www.air-rental.co.jp/

人手が中心であった
足場の荷揚げ作業を
安全・安心・低コストに

NETIS

国土交通省新技術情報提供システム
NETIS登録番号: QS-110034-A

イェノコト 株式会社

0120-200-789

1級家事セラピスト

淀川 洋子

Hiroko Yodogawa

Mobile: 090-7441-4313

E-mail: yodogawa@ienokoto.jp

〒818-0104

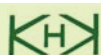
福岡県太宰府市通古賀5-2-3

Fax 092-929-2526



ienokoto.jp

ナガタ建設40周年記念事業

おかげ
さまで
40年有限会社
博多クレーン工業

◆一般クレーン工事・ミニアース杭工事◆

代表取締役

宮本 正則

〒816-0901 大野城市乙金東4丁目13-1

TEL (092) 503-3322

FAX (092) 503-3323

(携帯 090-3320-7613)

http://www.hakata-crane.co.jp

- 結婚式、葬儀の司会・進行
- 各式典、イベントの司会・進行
- アシスタントの派遣

～セレモニーをトータルコーディネートいたします～

sèrèmonie



有限会社

セレモニエ・エム

福岡県筑紫野市古賀12-2

〒818-0047

Tel 092(923) 7203 Fax 092(923) 7206

福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル11F

TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

http://www.fukuoka.doyu.jp/

福岡同友会

検索

環境を守るため再生紙を使用しています。